

# きられ様

## 水戸浪士の墓

匝瑳  
探訪

— 42 —

141年前の明治元年（1868年）11月19日、八日市場周辺は緊迫感につつまれました。世に「八日市場・松山戦争」といわれる水戸藩内部抗争の戦いの場となつてしまつたのです。戦いは午後2

時ごろには終わったものの、天狗党による諸生派市川勢の厳しい探索が続けられ、周辺の人たちは不安な夜を過ごしたのです。

徳川幕府の崩壊により、水戸藩の諸生派市川勢は、同年3月に水戸を出て、会津（福島県）・越後・佐渡（新潟

県）と転戦し、再び水戸に戻つたものの入城できませんでした。市川勢は銚子にたどり着き、そこから東京を目指す途中、旧暦10月6日に追手の天狗党と八日市場で最後の戦いとなりました。

「八日市場・松山戦争」では市川勢1000余人のうち、焼死などによる戦死者が40人、行方不明は40人余りとされています。中台の水戸藩士の墓（脱走塚）には25人が埋葬され、最近までの調査でこの戦いで死亡者30人の名が判明しています。

立てました。

その史跡の一つに今泉（野田地区）の「きられ様」があります。松山・中台両村での戦闘の後、6日夕方にかけて四方に逃げのびた市川勢の探索は翌日になつても続き、ところどころでこぜりあいもあつたことでしょう。今泉での戦死者を葬つた場所に供養塔を立て「きられ様」と呼ぶようになったようです。

昨春秋、今泉地区関係者の尽力で旧長泉寺跡墓地に「きられ様」の供養のため新たに「水戸浪士の墓」の標柱を立てることができました。

昨年見つけた吉崎の水戸藩士の墓や水戸藩士鈴木鈞一郎が埋葬された東谷（平和地区）安養寺境内墓地にも標柱が立てられました。

このほか水戸藩士が埋葬されていると伝えられる飯倉なども調査し、立てる予定です。

今年9月、水戸市で行われた「水戸藩国事殉難者慰霊法要」に本市からの参加があり、11月には「幕末維新水戸有志を偲ぶ会」の一行が諸生派ゆかりの本市を訪ねる予定で、幕末から明治維新の歴史を通じての交流が行われています。

問 八日市場図書館 ☎ 73・3746



旧長泉寺跡墓地にある「水戸浪士の墓」の標柱（野田地区今泉）

昨春秋に「水戸藩国事殉難者慰霊祭」が本市で行われ、その後、市内の歴史愛好者による「水戸藩士の史跡を顕彰する会」ができました。会の活動として「八日市場・松山戦争」の史跡を発掘し、そこに標柱を